

黒潮の蛇行

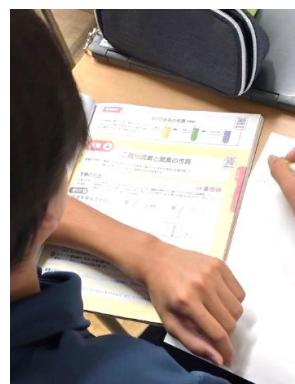
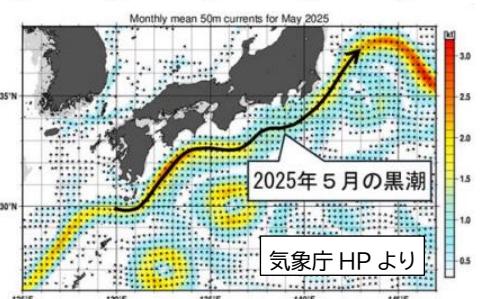
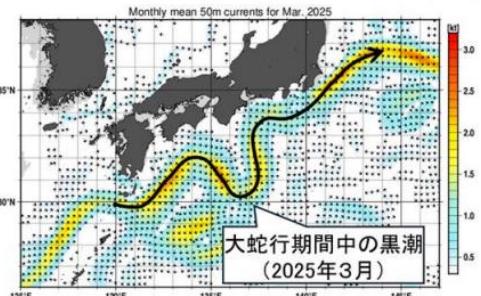
『過去最長の「黒潮大蛇行」が終息』

気象庁と海上保安庁は2025年8月29日、今年4月に終息したと、過去最長となる7年9ヶ月にわたり続いてきた『「黒潮大蛇行」の終息』を正式に発表しました。

黒潮の大蛇行は、水産資源や異常気象、さらには船舶運航に多岐にわたる影響を及ぼします。猛暑・豪雨リスクの増大、潮位の上昇による高潮被害、海水温上昇と海藻の減少など海洋生態系へ影響します。また、関東・東海で湿度と気温が上昇させてきました。海流が変化しサンマ、サケ、スルメイカの漁獲量が2014~2019年の5年間で、74%減少したと水産庁が発表しました。実は、黒潮の大蛇行の上に地球温暖による海水温の上昇も、海流ひいては漁業に打撃を与えていました。被害は散まんです。黒潮大蛇行の終息は確かに朗報ですが、一度変化した生態系は、回復に時間がかかります。これを機に私たちは地球温暖化が海流というレベルにまで影響を与える現実と向き合う必要があるのです。身の回りのできること、節電・節水・ゴミの分別と削減・残菜の削減等をやり続けるのです。

さて、1年生の理科は二酸化炭素と酸素性質について学んでいます。二酸化炭素は地球温暖化の原因気体です。今回は、二酸化炭素と酸素を、それぞれ化学反応によって生成する実験の準備です。性質の異なる気体を比較しながら学ぶことは大変有用です。温暖化についても考えます。

3階に差し掛かると廊下が温暖化しています。教室に入ると学活の時間を利用して、「面接」について取り組んでいました。進路選択に向けての準備すなわち次の人生に向けての準備です。それは熱くなります。まずは、礼・ノック・ドアの開閉・



挨拶・姿勢などなど、お作法を中心に解説が進んでいきました。普段から相手を重んじている清瀬中生ですから、礼やノック挨拶などのお作法は、さほど苦にならないはず。まずは担任が手本を示して、代表生徒が実演しました。続いて、一列ごとに礼の練習をしました。人から型を見られるこの練習方法は大変効果があります。

義務教育修了は誰もが通る道。回避する方法はありません。進路に悩み蛇行し、これから受けれる模試の得点も上下に蛇行することでしょう。しかし、終息に7年9ヶ月の歳月の必要はありません。残り数ヶ月、実直に向き合えば良いのです。悔しくて、頑張って、うまくいって、笑顔になって。「若い時の苦労は買ってでもせよ」という諺があります。苦しみ悩むことは自らの成長のために大切です。あらゆる経験を力にして目標に近づいていきましょう。

苦労しょおー！ ああ だこう だ言わずにまずはトライ！